

事前ヒアリング調査結果

(1) 調査概要

ウォーターPPP に関するアンケート調査を通じて、民間事業者から本取り組みに対する理解度や関心、対象施設及び対象業務に関するご意見を幅広く伺い、それらを事業内容の検討に活用することを目的に、ウォーターPPP 導入検討に関する説明会（以下、説明会）およびアンケート調査を実施した。

(2) 実施日

説明会の実施日及びアンケート調査期間は以下のとおりである。

説明会実施日	令和 7 年 10 月 1 日（水） 18:00～19:00
アンケート調査票送付日	令和 7 年 10 月 1 日（水）
アンケート回答締切日	令和 7 年 10 月 10 日（金）

(3) 実施方法

説明会は我孫子市役所にて対面で実施し、当日その場でアンケート調査票を紙で配布した。また、当日中にエクセルデータをメールでも配布し、紙・電子のいずれの形式でも回答できるよう配慮した。さらに、当日参加できなかった企業にもアンケートにご回答いただけるよう、我孫子市ホームページにて説明会資料および調査票を公開した。

(4) 調査内容

以下項目において調査を実施した。

設問 No.	設問内容
1	会社の基本情報に関する質問
2	会社の業務実績に関する質問
3	我孫子市下水道課から受注する業務の課題に関する質問
4	ウォーターPPP に関する質問

(5) 回答状況

アンケートの回答結果を以下にまとめて示す。複数の業種から 21 社の参加があった。

(6) 回答結果

① 貴社の基本情報に関する質問

- ①-1 我孫子市下水道課および治水課から受注した業務で事業としてあてはまるものがある場合は、該当課の選択肢に「○」をつけてください。以下の項目に該当する業務がない場合はその他欄に「○」をつけ、業務内容をご記入ください（複数回答可）。どちらに該当するかわからない場合は、「業務内容」欄などに適宜記載してください。

➤ 回答数：21 社

下水道課及び治水課のどちらにおいても維持管理業務の受注実績が改築（更新）工事の実績よりも多い傾向にあった。

表 0-1 受注したことのある主たる業務（下水道課）

回答	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の清掃）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の点検調査）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の修繕）	改築（更新）工事（管渠・マンホールポンプ等）	その他
件数	2	3	0	2	7

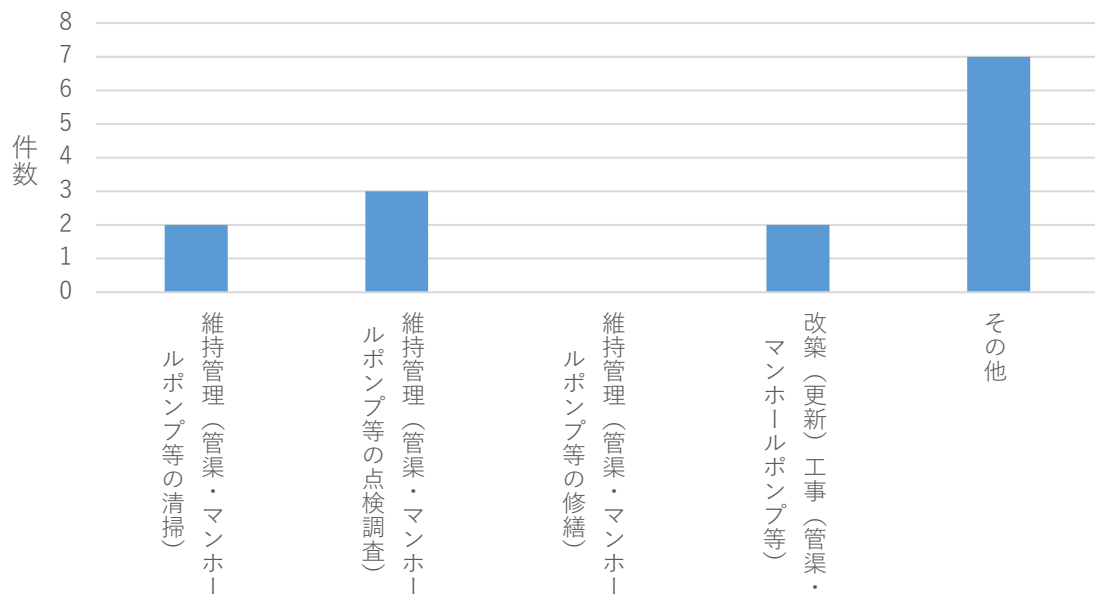


図 0-1 受注したことのある主たる業務（下水道課）

➤ 主なその他の回答（順不同）

下水道管新設、改築（更新）工事（管渠）の下請工事、マンホール蓋の資材供給、下水道施設ストックマネジメント計画策定、計画業務（経営戦略、事業計画等）、排水設備等点検業務委託（送煙調査）、污水管流量調査

表 0-2 受注したことがある主たる業務（治水課）

回答	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の清 掃）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の点検 調査）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の修 繕）	維持管理 （雨水調 整池の清 掃）	維持管理 （雨水調 整池の点 検調査）	維持管理 （雨水調 整池の修 繕）	維持管理 （ポンプ 場の運転 管理）
件数	2	1	1	1	0	0	0

回答	維持管理 （ポンプ 場の修 繕）	改築（更 新）工事 （管渠・ マンホール ポンプ 等）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の土木 構造物・ 建築物）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の機械 設備）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の電気 設備）	その他
件数	0	0	0	0	0	3

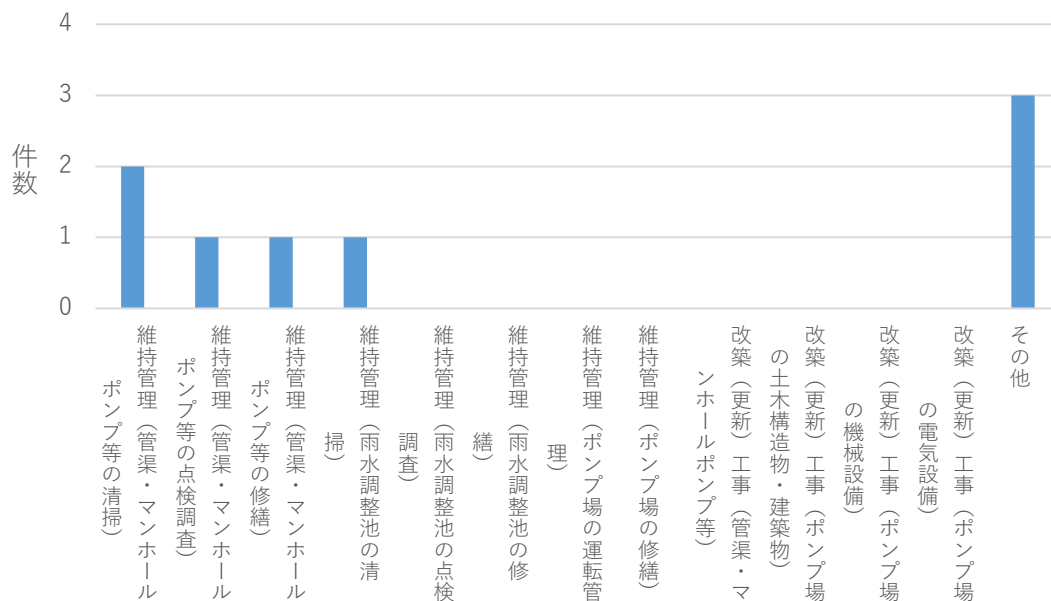


図 0-2 受注したことがある主たる業務（治水課）

➤ 主なその他の回答（順不同）

雨水管新設、排水路改修、マンホール蓋の資材供給、計画業務（雨水計画等）

①-2 貴社の従業員数（パート・アルバイトを除く）をご記入ください。

➤ 回答数：21 社

回答のあった 21 社のうち、従業員 100 名以下の事業者は約半数の 9 社であり、101～10,000 名の事業者は 10 社、10,000 名を超える事業者は 1 社である。

表 0-3 従業員規模

従業員数	1～10 名	11～50 名	51～100 名	101～ 1,000 名	1,001～ 10,000 名	10,001 名 以上
事業者数	5	4	1	6	4	1

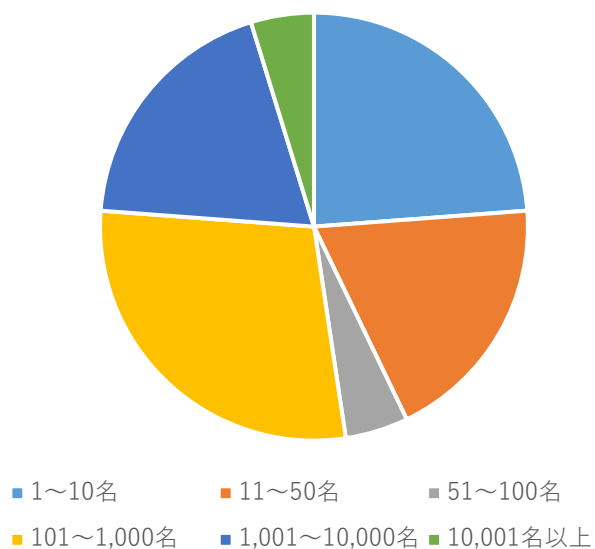


図 0-3 従業員規模

②貴社の業務実績に関する質問

②-1 直近 5 年間（令和 2～6 年度）に下水道課および治水課から受注した業務があれば、該当課の選択肢に「○」をつけてください。また直近 5 年間の受注件数を業務ごとにご記入ください。以下の項目に該当する業務がない場合はその他欄に「○」をつけ、業務内容をご記入のうえ、合計件数をご記入ください（複数回答可）。どちらに該当するかわからない場合は、「業務内容」欄などに適宜記載してください。

➤ 回答数：9 社

下水道課、治水課のどちらの事業においても、改築（更新）工事業務と比較して管渠・マンホールポンプ等の清掃や点検調査といった維持管理業務の受注実績のある事業者が多い結果となった。また、受注件数においては、同様の業務を複数回実施したことがある事業者もあり、特に下水道課の改築（更新）工事（管渠等）業務に関しては 1 社で 13 件、下水道管布設業務に関しては 1 社で 7 件の受注実績がある事業者が存在した。

表 0-4 直近 5 年間の業務実績（下水道課）

回答	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の清掃）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の点検調査）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の修繕）	改築（更新）工事（管渠等）	その他
回答数	2	2	0	2	5

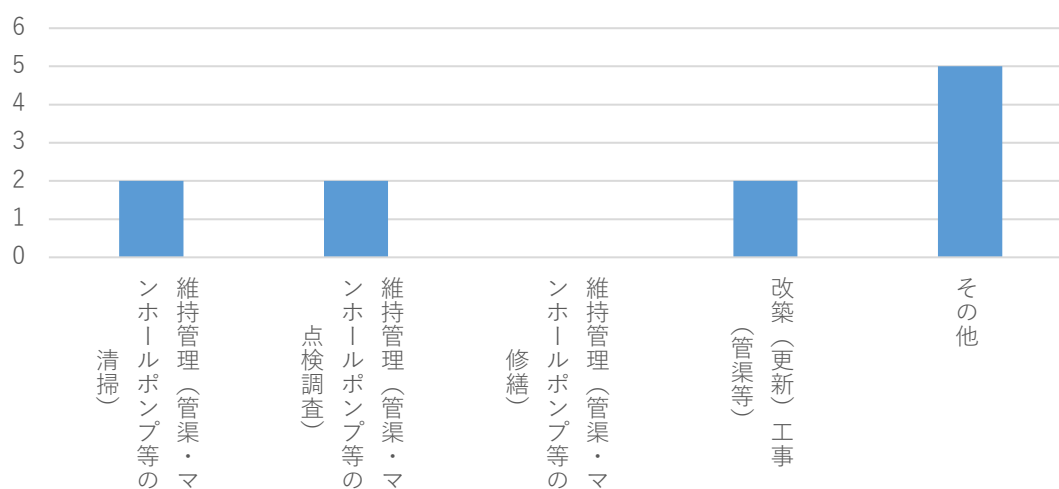


図 0-4 直近 5 年間の業務実績（下水道課）

➤ 主なその他の回答（順不同）

下水道管布設、改築（更新）工事（管渠）の下請工事、ストックマネジメント点検・調査及び修繕・改築計画策定業務委託、計画業務（経営戦略、事業計画等）、排水設備等点検業務委託（送煙調査）、污水管流量調査

表 0-5 直近 5 年間の業務実績（治水課）

回答	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の清 掃）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の点検 調査）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の修 繕）	維持管理 （雨水調 整池の清 掃）	維持管理 （雨水調 整池の点 検調査）	維持管理 （雨水調 整池の修 繕）	維持管理 （ポンプ 場の運転 管理）
回答数	2	1	1	1	0	0	0

回答	維持管理 （ポンプ 場の修 繕）	改築（更 新）工事 （管渠 等）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の土木 構造物・ 建築物）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の機械 設備）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の電気 設備）	その他
回答数	0	0	0	0	0	2

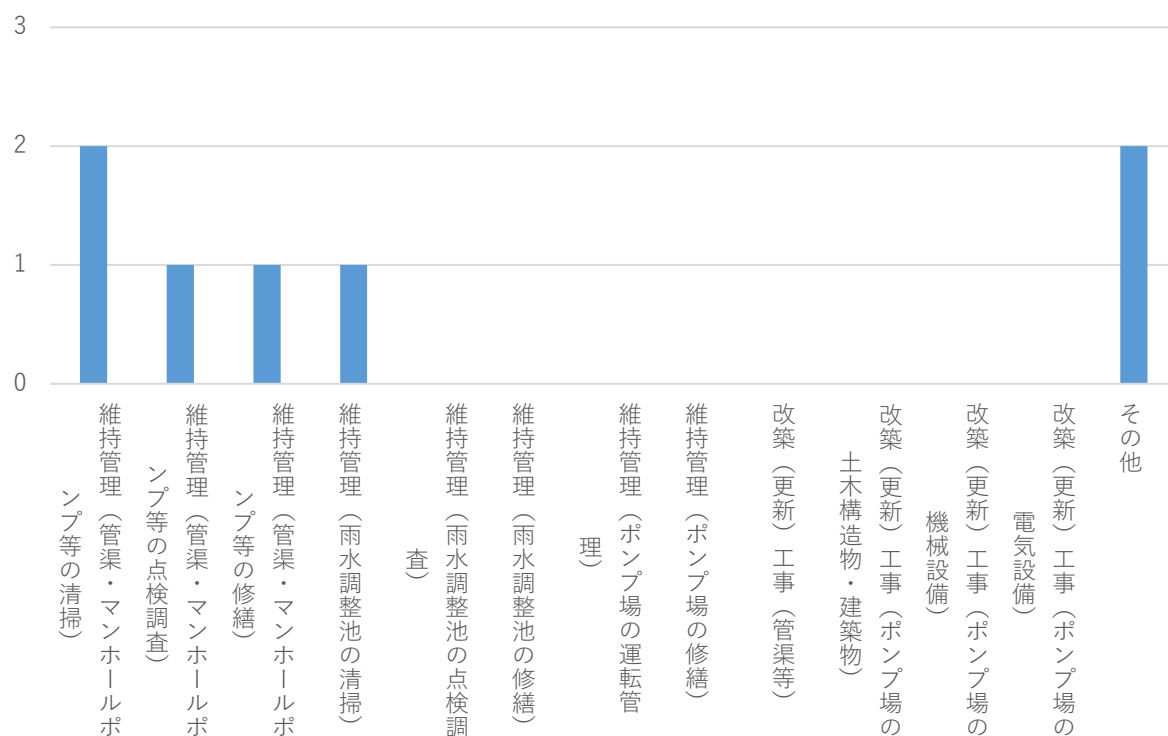


図 0-5 直近 5 年間の業務実績（治水課）

- 主なその他の回答（順不同）
雨水管布設、計画業務（雨水計画等）

②-2 貴社担当部署が受注する年間業務「件数」のうち、我孫子市下水道課および治水課から受注する業務「件数」及び「金額」の割合

➤ 回答数：19 社

受注した業務件数・金額の割合は、「①0%～20%」が 18 社と最も多い。地元企業で 1 社のみ「②21%～40%」を選択した企業があった。

表 0-6 業務「件数」割合（企業全体）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	18	1	0	0	0

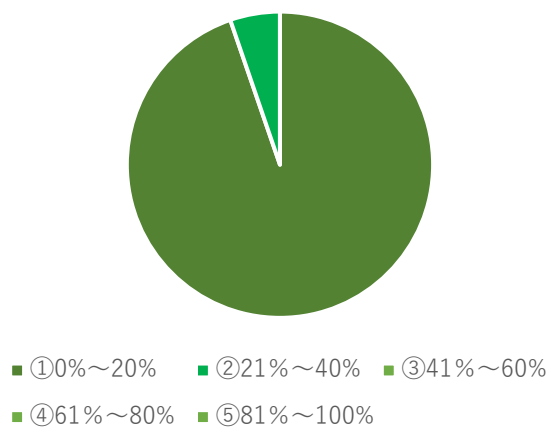


図 0-6 業務「件数」割合（企業全体）

表 0-7 業務「金額」割合（企業全体）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	18	1	0	0	0

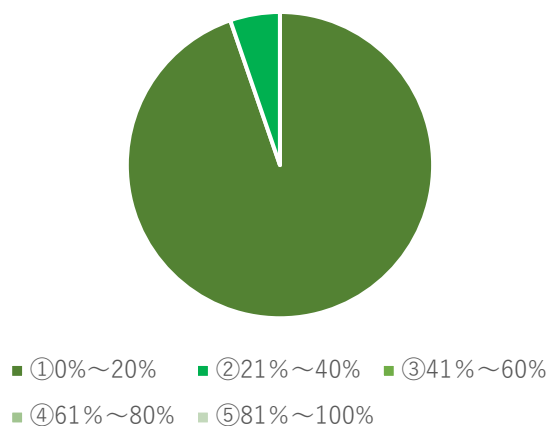
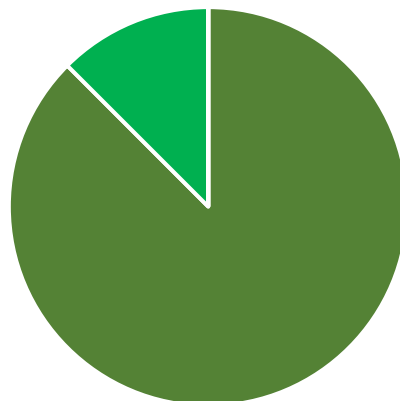


表 0-8 業務「件数」割合（地元企業）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	7	1	0	0	0

図 0-7 業務「金額」割合（企業

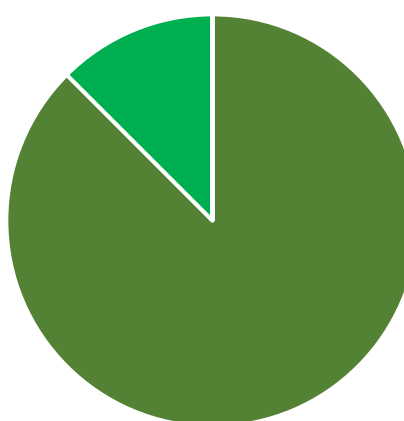


■ ①0%～20% ■ ②21%～40% ■ ③41%～60%
■ ④61%～80% ■ ⑤81%～100%

図 0-8 業務「件数」割合（地元企業）

表 0-9 業務「金額」割合（地元企業）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	7	1	0	0	0

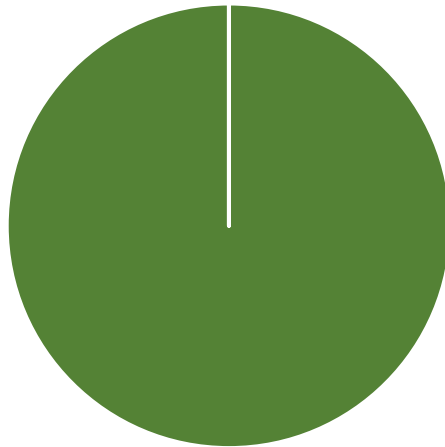


■ ①0%～20% ■ ②21%～40% ■ ③41%～60%
■ ④61%～80% ■ ⑤81%～100%

図 0-9 業務「金額」割合（地元企業）

表 0-10 業務「件数」割合（地元企業以外）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	11	0	0	0	0

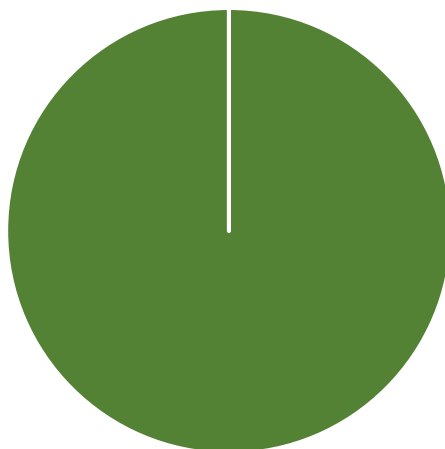


■ ①0%～20% ■ ②21%～40% ■ ③41%～60% ■ ④61%～80% ■ ⑤81%～100%

図 0-10 業務「件数」割合（地元企業以外）

表 0-11 業務「金額」割合（地元企業以外）

回答	①0%～20%	②21%～40%	③41%～60%	④61%～80%	⑤81%～100%
件数	11	0	0	0	0



■ ①0%～20% ■ ②21%～40% ■ ③41%～60% ■ ④61%～80% ■ ⑤81%～100%

図 0-11 業務「金額」割合（地元企業以外）

③我孫子市下水道課から受注する業務の課題に関する質問

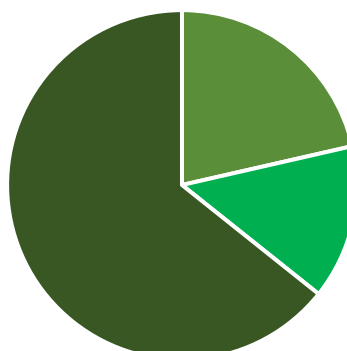
③-1 これまで我孫子市下水道課および治水課から受注した業務に関して、貴社が業務を実施する際に、市側の業務や仕組み等について改善や工夫がなされれば事業の効率化等につながるとお考えの点はありましたか。事業を円滑に進めるために、前向きな観点からご意見を願いたします。いずれかに「○」をつけていただき、改善や工夫の余地がある場合は、具体的な内容についてご記入ください。

➤ 回答数：14 社

下水道課事業においても治水課事業においても、「我孫子市側の改善により効率化等ができる点があるかどうかはわからない」と回答した事業者が9社と最も多い。

表 0-12 我孫子市側の改善によって効率化ができると感じた割合（下水道課）

回答	効率化等ができる点がある	我孫子市側の改善により効率化等ができる点は特 にない	我孫子市側の改善により効率化等ができる点がある かどうかはわからない
件数	3	2	9



- 効率化等ができる点がある
- 我孫子市側の改善により効率化等ができる点は特
にない
- 我孫子市側の改善により効率化等ができる点がある
かどうかはわからない

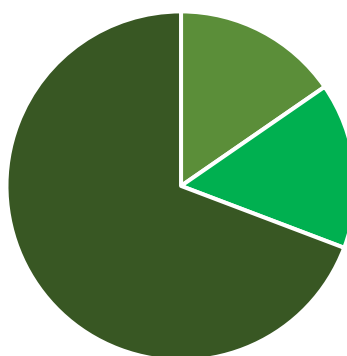
図 0-12 我孫子市側の改善によって効率化ができると感じた割合（下水道課）

➤ 「効率化等ができる点がある」と回答した事業者の主な回答理由（順不同）

- ・ 設計内容と施工内容の相違が見受けられる
- ・ 災害時の対策を強化することで、人員不足な状況でも効率化が図れる
- ・ 下水道台帳の整備

表 0-13 我孫子市側の改善によって効率化ができると感じた割合（治水課）

回答	効率化等ができる点がある	我孫子市側の改善により効率化等ができる点はない	我孫子市側の改善により効率化等ができる点があるかどうかはわからない
件数	2	2	9



- 効率化等ができる点がある
- 我孫子市側の改善により効率化等ができる点はない
- 我孫子市側の改善により効率化等ができる点があるかどうかはわからない

図 0-13 我孫子市側の改善によって効率化ができると感じた割合（治水課）

- 「効率化等ができる点がある」と回答した事業者の主な回答理由（順不同）
- ・ 設計内容と施工内容の相違が見受けられる
 - ・ 監視設備を強化することで、人員不足な状況でも早期対応が可能となる

- ③-2 これまで我孫子市下水道課および治水課から受注した業務に関して、貴社が業務を実施する際に、市側の業務や仕組み等について問題が起こりそうだと感じた点がありましたか。事業を円滑に進めるために、将来の課題や支障となる恐れがある点を事前に把握しておきたいと考えております。いずれかに「○」をつけていただき、問題点等がある場合は、具体的な内容についてご記入ください。

➤ 回答数：14 社

下水道課事業においても治水課事業においても、「問題が起こりそうかどうかはわからない」と回答した事業者が6社と最も多い。「問題が起こりそうな点がある」という回答の理由としては、「コンサルによる調査と現地の相違」や「災害時における安全性に対する意識の低さ」が挙げられている。

表 0-14 問題が起こりそうと感じる割合（下水道課）

回答	問題が起こりそうな点がある	問題が起こりそうな点 は特にはない	問題が起こりそうかど うかはわからない
件数	3	5	6

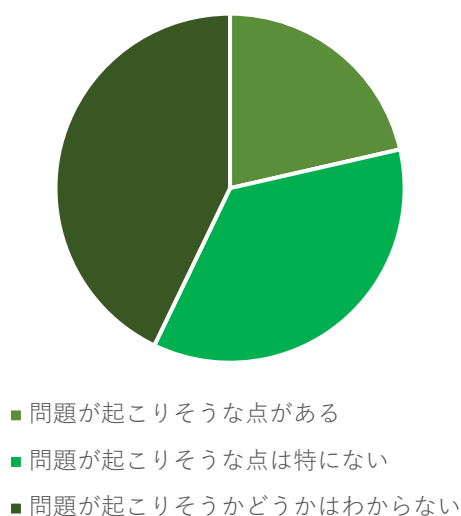


図 0-14 問題が起こりそうと感じる割合（下水道課）

- 「問題が起こりそうな点がある」と回答した事業者の主な回答理由（順不同）
- ・ 現場の状況に即した設計の成果品を受領していただきたい
 - ・ 住民への事前説明、地下埋設物調査、工法の選定、コンサルによる調査と現地の相違
 - ・ 災害時における安全性に対しての意識が低すぎるので事故が起こる可能性が十分にある

表 0-15 問題が起こりそうと感じる割合（治水課）

回答	問題が起こりそうな点がある	問題が起こりそうな点 は特にない	問題が起こりそうかど うかはわからない
件数	1	5	6

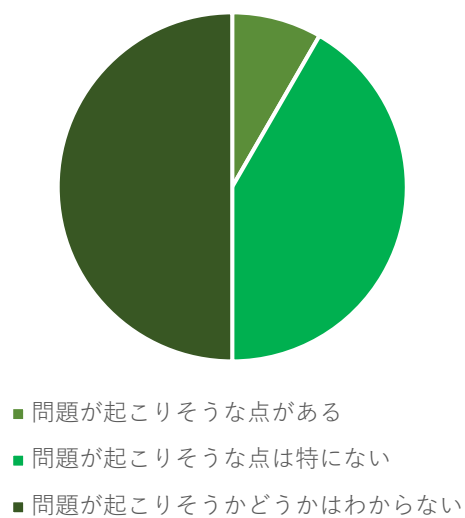


図 0-15 問題が起こりそうと感じる割合（治水課）

④ウォーターPPPに関する質問

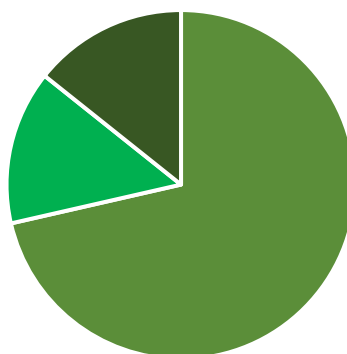
④-1 ウォーターPPP という制度について知っていましたか。また、理解していましたか。
いずれかに「○」をつけてください。

➤ 回答数：21 社

制度について知っていて理解していた、または知っていたが理解していなかった事業者は合計 18 社であり、多数を占める状況である。

表 0-16 ウォーターPPP を理解している割合

回答	制度について知っていて、理解していた	制度について知っていたが、理解していなかった	制度について知らなかった
件数	15	3	3



- 制度について知っていて、理解していた
- 制度について知っていたが、理解していなかった
- 制度について知らなかった

図 0-16 ウォーターPPP を理解している割合

④-2 本説明会でウォーターPPPの理解は深まりましたか。いずれかに「○」をつけてください。またその理由についてご記入ください。

➤ 回答数：21 社

「理解が深まった」と回答した事業者が16社と最も多かった。「理解が深まらなかった」と回答した理由として、「時間が短く、内容把握が困難だった」等の理由が挙げられた。

表 0-17 説明会後のウォーターPPPの理解度

回答	理解が深まった	理解が深まらなかった	理解が深まったかどうか分からない
件数	16	2	3

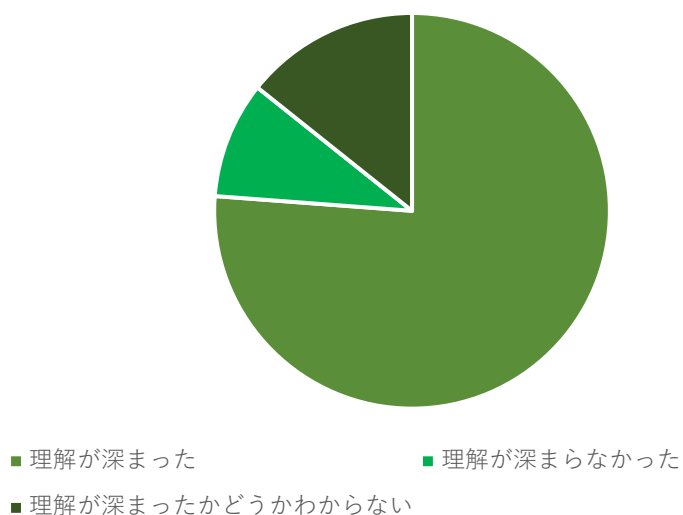


図 0-17 説明会後のウォーターPPPの理解度

➤ 回答の理由（順不同）

- ・ 我孫子市の現状がわかり、WPPP 導入の方向性が理解できた
- ・ 本件における、現場事務所・専任担当・担当者資格等、市の柔軟な発想を理解できたため
- ・ 制度についての概要は理解したが、詳細なところが不明
- ・ 時間が短く、内容把握が困難であった

④-3 我孫子市公共下水道事業のウォーターPPPに対する関心度合いに「○」をつけてください。またその理由をご記入ください。

➤ 回答数：21 社

「②関心がある」と答えた事業者は 10 社と最も多く、①大いに関心があると答えた事業者が 5 社と続くことから、ウォーターPPP に対する関心が高い状況がうかがえる。また、全事業者と地元事業者の回答を比較すると、「大いに関心がある」と回答した事業者は全事業者のうち 24%であるのに対して、地元事業者は 33%であり、地元事業者のほうがウォーターPPP への関心が高い結果となった。

表 0-18 ウォーターPPP の関心度合い

回答		①大いに関心がある	②関心がある	③どちらともいえない	④あまり関心がない	⑤全く関心がない
回答数	全企業	5	10	4	2	0
	うち地元企業	3	3	2	1	0
	うち地元企業以外	2	7	2	1	0

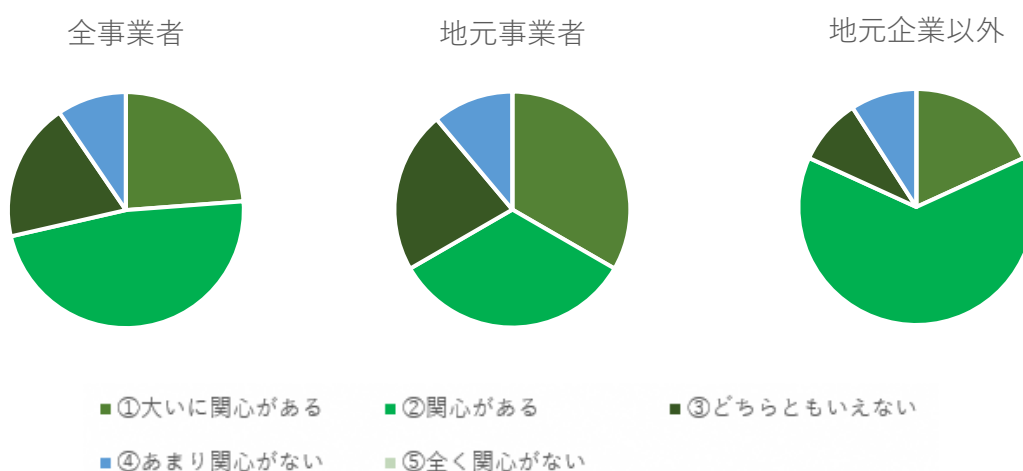


図 0-18 ウォーターPPP の関心度合い

➤ ウォーターPPP に対する関心度合いの理由（順不同）

- ・ ウォーターPPP 導入は交付要件化となっており、污水管の改築に関わる交付金の在り方に影響すると考えるため
- ・ 業者にとっては業務の安定化が図れる。長期に業務を実施することにより、地域特性を把握し業務の効率化が図れる。
- ・ 要求事項の内容や連携する会社にもよるが、現時点では関心がある
- ・ 契約期間が長く業務内容が広すぎる
- ・ 自社の業務としては対応が困難

④-4 【ウォーターPPPの4要件「① 長期契約」関連】

これまでの維持管理業務は単年度契約が主でしたが、仮にウォーターPPPが導入されると、原則10年間の契約となります。一般的に、長期契約となることにより民間側が長期サイクルを意識した投資・維持管理を行えるようになること等から、「(1)業務の効率化」や「(2)業務の質向上」が見込まれるとされています。現在貴社が行っている業務で、「(1)業務の効率化」が見込まれる点がありますか。いずれかに「○」をつけてください。またその内容や理由をご記入ください。

➤ 回答数：21社

「業務の効率化が見込まれる」と答えた事業者が11社、「業務の効率化が見込まれるかどうかはわからない」と答えた事業者が10社であり、ほぼ同数となっている。長期契約により事業収益や雇用の安定性と計画的な人材育成につながるという利点を挙げる事業者がある一方、業務内容が未定であるため判断できないという意見も挙げられた。

表 0-19 長期契約により業務効率化が見込まれるか

回答	業務の効率化が見込まれる	業務の効率化は特に見込まれない	業務の効率化が見込まれるかどうかはわからない
件数	11	0	10

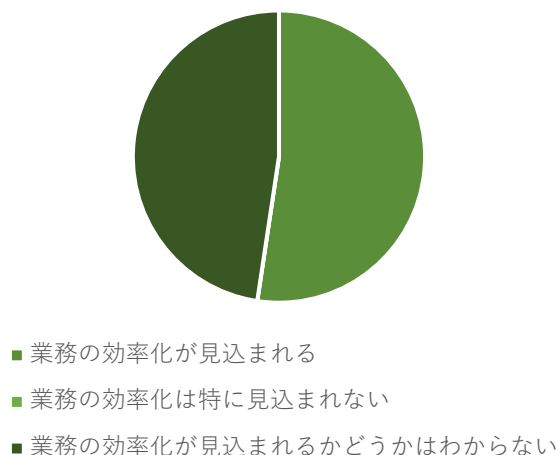


図 0-19 長期契約により業務効率化が見込まれるか

- 効率化が見込まれる点（順不同）
- ・ 年間業務のスケジュールを立てることができるようになる
 - ・ 長期契約になるため安定的な投資や人材配置が見込まれる
 - ・ 業務毎に行っていた見積りおよび入札、契約、計画書作成、施工体制台帳作成、下請契約等の簡略化が見込まれる
- 効率化が見込まれるかどうかわからない理由（順不同）
- ・ 長期契約の実績が無く、原則10年間は予想がつかない
 - ・ 人件費、材料費とも物価上昇が激しく、今後も物価変動は予想されるため、契約期間内における単価の見直しがないと厳しい

④-5 【ウォーターPPPの4要件「① 長期契約」関連】

④-4 同様に、長期契約となることにより、現在貴社が行っている業務で、「(2)業務の質向上」が見込まれる点がありますか。いずれかに「○」をつけてください。また、その内容や理由をご記入ください。

➤ 回答数：21 社

「業務の質向上が見込まれる」と回答した事業者が 12 社と最も多い一方、業務内容が未定であるため判断できない等の理由から「業務の質向上が見込まれるかどうかはわからない」と回答した事業者も 9 社となっている。

表 0-20 長期契約により業務の質向上が見込まれるか

回答	業務の質向上が見込まれる	業務の質向上は特に見込まれない	業務の質向上が見込まれるかどうかはわからない
件数	12	0	9



図 0-20 長期契約により業務の質向上が見込まれるか

- 業務の質向上が見込まれる点（順不同）
- ・ 長期契約になることで我孫子市の管路の特性や地域における特性等が蓄積されることにより、対応がスムーズに行われるようになる
 - ・ 民間企業ならではの効率的なノウハウや技術が活かされる
 - ・ 類似業務を繰り返すことができれば業務特性を深く理解できるようになり、判断の精度や対応力が高まる
 - ・ 発生対応型維持管理から、予防保全型維持管理へ転換、安定的かつ継続的な下水道施設の機能維持が可能になる
- 業務の質向上が見込まれるかどうかわからない理由（順不同）
- ・ 長期契約の実績が無く、原則 10 年間は予想がつかない
 - ・ 人件費、材料費とも物価上昇が激しく、今後も物価変動は予想されるため、契約期間内における単価の見直しがないと厳しい

④-6 【ウォーターPPPの4要件「② 性能発注」関連】

これまでの仕事内容は仕様発注で決められていましたが、ウォーターPPPが導入されると、性能発注になり、性能を満足する範囲で、民間側の自由度が高まります。例えば、「管路の点検回数は年間〇回」と決まっていたものが、「管路のつまり事故が年間■回以下となるように点検すること」、のようになります。この点について、現在貴社が行っている業務において、業務の効率化やコストダウンが可能となる点がありますか。いずれかに「〇」をつけてください。またその内容や理由をご記入ください。

➤ 回答数：20 社

業務内容が未定であるため判断できない、性能発注となると材質の良化が重視され機器費が高騰するのではないか、といった理由から「業務の効率化やコストダウンが可能となるかどうかはわからない」と答えた事業者が14社と最も多い。

表 0-21 性能発注により業務の効率化やコストダウンが見込まれるか

回答	業務の効率化やコストダウンが可能となる点がある	業務の効率化やコストダウンが可能となる点はない	業務の効率化やコストダウンが可能となるかどうかはわからない
件数	5	1	14

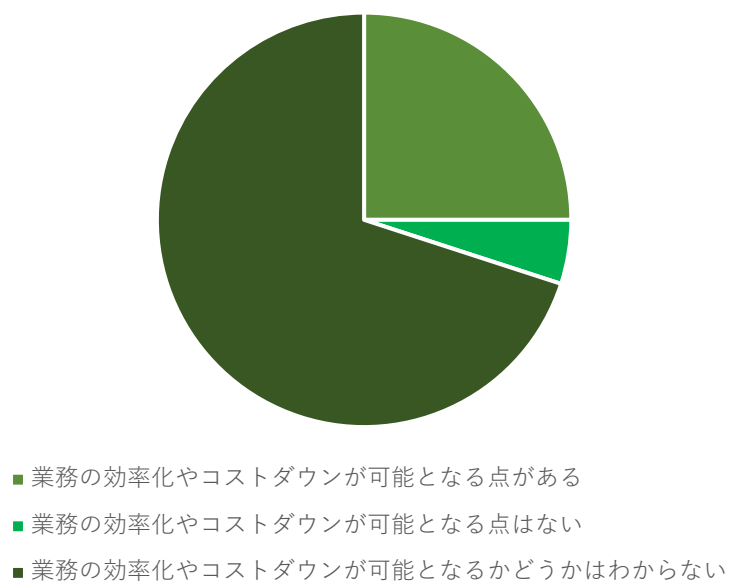


図 0-21 性能発注により業務の効率化やコストダウンが見込まれるか

- 業務の質向上が見込まれる点（順不同）
 - ・ 技術力を活用し、より早く施設情報を把握することによって事故対策に繋がり、業務の効率化やコストダウンが図れる
 - ・ 短期集中して作業が行えることや、スケールメリットを生かすことでコストダウンが可能な要素はあると考える

- 業務の質向上が見込まれるかどうか分からない理由（順不同）
 - ・ 性能発注となる場合、機器費の高騰や材質の良化が重視され、コストダウンは見込めないと考えられる
 - ・ 自社で想定する役割は計画等のコンサル、台帳整備、台帳管理システム面であるが、性能発注の場合で現在の記述的な判定基準が変わらないかぎり、作業のどのあたりが効率化やコストダウンが可能となるか実際に行ってみないと判断できない

④-7 【ウォーターPPPの4要件「③ 維持管理と更新の一体マネジメント」関連】

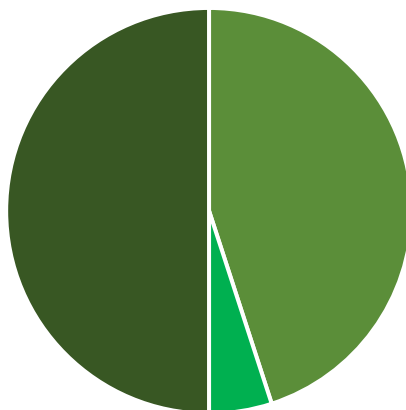
ウォーターPPPの導入により、調査・点検した結果をもとに、民間事業者が次の維持管理計画や更新計画を作成することが必要となります。例えば、管路の維持管理や点検で不具合が見つかった箇所から優先的に更新をするように、民間事業者が更新順序や時期を調整して業務を行うことが想定されています。この点について、貴社が現在行っている業務において、業務の効率化やコストダウンが可能となる点がありますか。いずれかに「○」をつけてください。また、その内容や理由をご記入ください。

➤ 回答数：21社

「業務の効率化やコストダウンが可能となる点がある」と回答した事業者が9社、「業務の効率化やコストダウンが可能となるかどうかはわからない」と回答した事業者が10社とほぼ同数となった。

表 0-22 維持管理と更新の一体マネジメントにより
業務の効率化やコストダウンが見込まれるか

回答	業務の効率化やコストダウンが可能となる点がある	業務の効率化やコストダウンが可能となる点はない	業務の効率化やコストダウンが可能となるかどうかはわからない
件数	9	1	10



- 業務の効率化やコストダウンが可能となる点がある
- 業務の効率化やコストダウンが可能となる点はない
- 業務の効率化やコストダウンが可能となるかどうかはわからない

図 0-22 維持管理と更新の一体マネジメントにより
業務の効率化やコストダウンが見込まれるか

- 業務の質向上が見込まれる点（順不同）
 - ・ 施設情報を把握することによって更新計画が立てやすく、ムダのない運営が図れる
 - ・ 判定基準の統一化を行うことで手戻りなく調査-計画-改築へスムーズに移行することが可能と考える。またコンサルタント業務に維持管理企業や工事施工企業の知見を活かすことで現場に即した対応が可能となると考える。
 - ・ 一例として、設計を意識した点検調査を行うことで、再調査による二度手間をなくことができ、設計業務の効率化に寄与できると考える
- 業務の質向上が見込まれるかどうか分からない理由（順不同）
 - ・ 維持管理業務と小規模修繕案件を同時進行することで、業務の効率化は可能と思う。維持管理と更新は個別対応のため、コストダウンは見込めないと考えられる
 - ・ 繁忙期以外に作業ができれば効率化は可能と思われるが、コストダウンについては不明（※試掘等の調査がなければ、コストダウンも可能かと思うがわからない）

④-8 【ウォーターPPPの4要件「④ プロフィットシェア」関連】

ウォーターPPPの導入により、民間事業者の自由度が高まるため、ノウハウや新技術を活用して、積極的にコストダウンをすることが可能となります。プロフィットシェアとは、民間による新技術の導入や維持管理の工夫により契約後に生み出されたコスト削減分を官民で分配する仕組みのことです。この制度のもとでコストダウンに積極的に取り組みますか。いずれかに「○」をつけてください。また、その内容や理由をご記入ください。

➤ 回答数：20社

ウォーターPPPの実施内容が決まらなると判断できない、連携する会社との調整が必要となるといった理由から、「コストダウンに積極的に取り組むかどうかはわからない」と回答した事業者が10社と最も多い。

表 0-23 プロフィットシェアのもとでコストダウンに取り組むか

回答	コストダウンに積極的に に取り組む	コストダウンに積極的に に取り組むつもりはない	コストダウンに積極的 に取り組むかどうかは わからない
件数	8	2	10

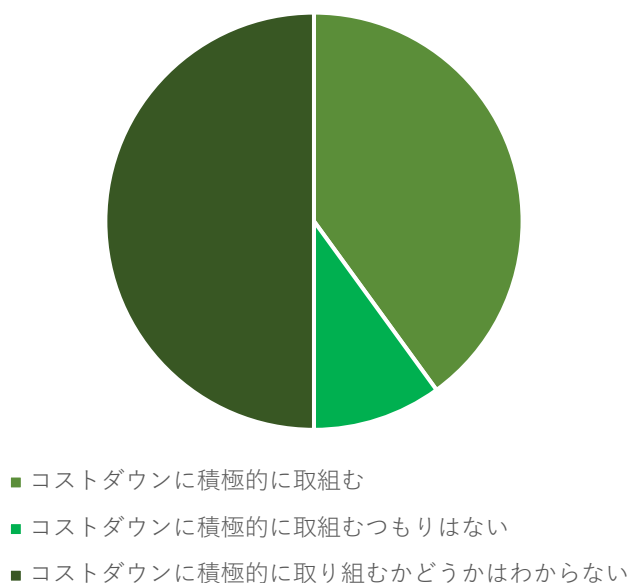


図 0-23 プロフィットシェアのもとでコストダウンに取り組むか

- コストダウンに積極的に取り組むと回答した理由（順不同）
 - ・ 省エネ機器の導入やラーニングコストと低減に取り組む
 - ・ 取組みは行うものの、シェアの比率等
 - ・ コストダウンには取り組むが、新技術導入のコスト等を考えるとプロフィットシェアの分配率が課題と思われる
- コストダウンに積極的に取り組むつもりはないと回答した理由（順不同）
 - ・ 安全性、業務の質を考えた場合積極的に取り組むつもりはない
- コストダウンに積極的に取り組むかどうかはわからないと回答した理由（順不同）
 - ・ 業務改善のための提案は積極的に行いたい、連携する会社との調整が必要になる
 - ・ 業務効率化やコストダウンの取組みは実施したいが、業務内容が整理されてからでないと判断できない

- ④-9 我孫子市で仮にウォーターPPPが導入された場合、以下の業務の中で貴社が対応可能な業務があれば、該当課の選択肢に「○」をつけてください（複数回答可）。業務内容の詳細を補足する場合は右欄にご記入ください。

➤ 回答数：20 社

対応可能な業務については、改築（更新）工事（ポンプ場の土木構造物・建築物）に対応可能と回答した事業者は存在しなかった。一方、維持管理のうち、管渠・マンホールポンプ等の清掃、管渠・マンホールポンプ等の点検調査、管渠・マンホールポンプ等の修繕に対応可能と回答した事業者が多数存在した。

表 0-24 ウォーターPPPが導入された場合対応可能な業務（下水道課）

回答	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の清掃）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の点検調査）	維持管理（管渠・マンホールポンプ等の修繕）	改築（更新）工事（管渠等）	その他
件数	7	9	6	7	7

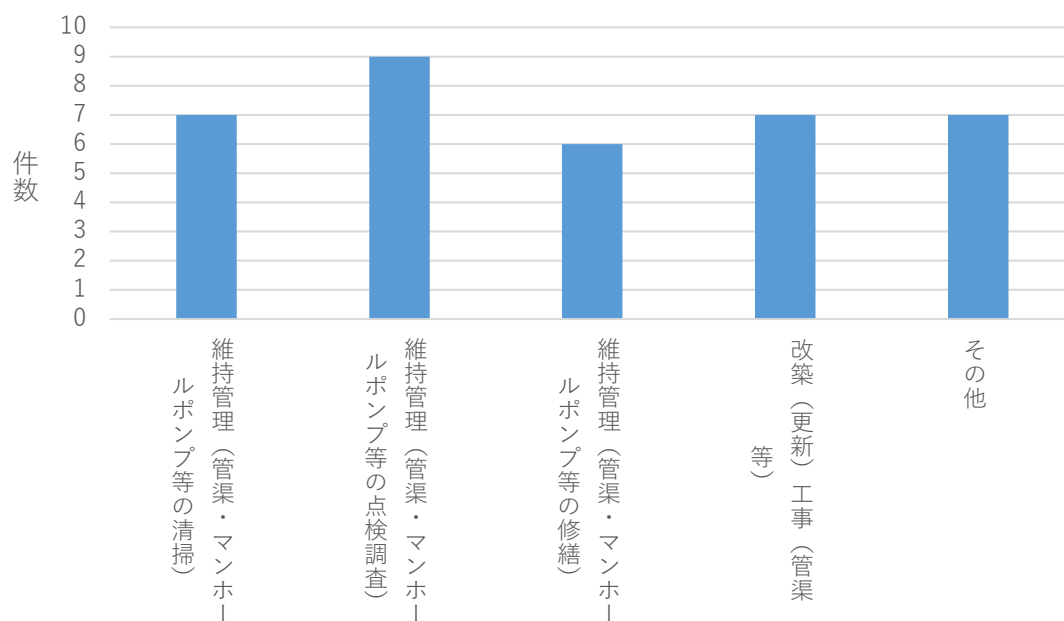


図 0-24 ウォーターPPPが導入された場合対応可能な業務（下水道課）

➤ その他の回答内容（順不同）

下水道施設のマネジメント計画策定、下水道台帳整備、下水道台帳システム整備、統括管理業務、マンホール蓋の改築計画策定業務、マンホール蓋の資材供給、送煙調査、流量調査

表 0-25 ウォーターPPP が導入された場合対応可能な業務（治水課）

回答	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の清 掃）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の点検 調査）	維持管理 （管渠・ マンホール ポンプ 等の修 繕）	維持管理 （雨水調 整池の清 掃）	維持管理 （雨水調 整池の点 検調査）	維持管理 （雨水調 整池の修 繕）	維持管理 （ポンプ 場の運転 管理）
件数	5	6	5	5	3	2	1

回答	維持管理 （ポンプ 場の修 繕）	改築（更 新）工事 （管渠 等）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の土木 構造物・ 建築物）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の機械 設備）	改築（更 新）工事 （ポンプ 場の電気 設備）	その他
件数	2	3	0	2	2	2

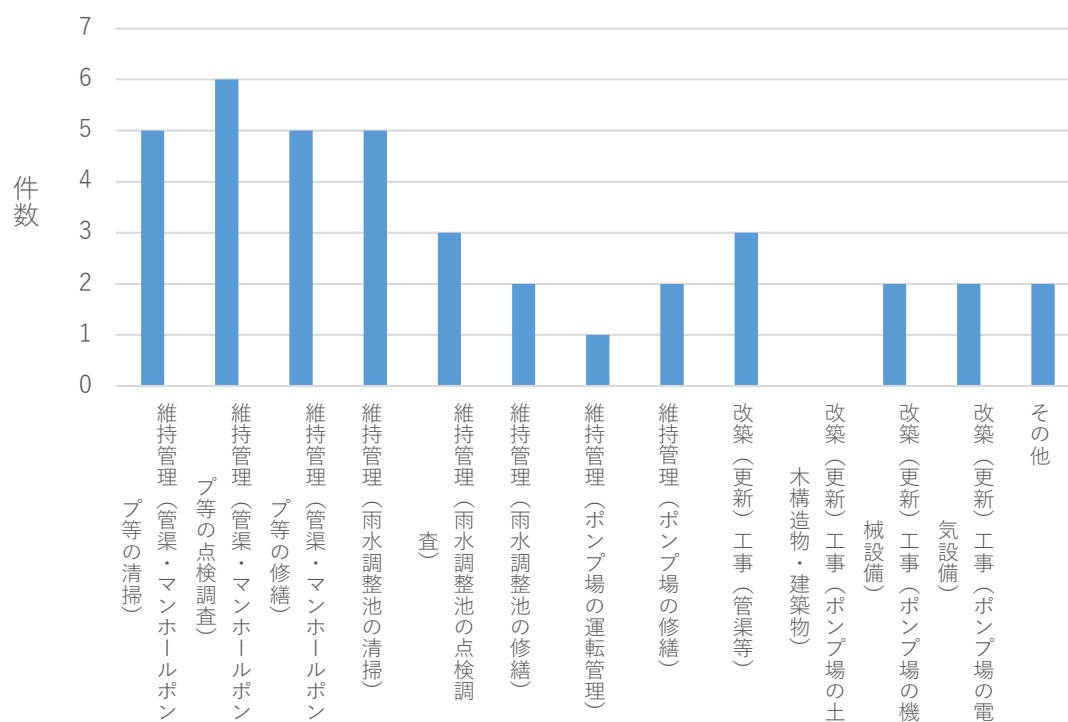


図 0-25 ウォーターPPP が導入された場合対応可能な業務（治水課）

- その他の回答内容（順不同）
計画策定業務・設計業務全般、統括管理業務

④-10 今後、我孫子市のウォーターPPP の説明会やアンケートが実施された場合、参加したいと思いますか。

➤ 回答数：21 社

「参加したい」と回答した事業者は 15 社と最多であった。

表 0-26 今後ウォーターPPP の説明会やアンケートが実施された場合参加したいか

回答	参加したい	参加したくない	わからない
件数	15	1	5

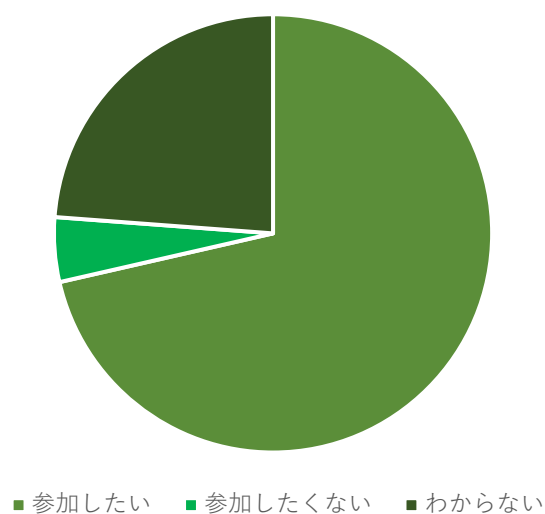


図 0-26 今後ウォーターPPP の説明会やアンケートが実施された場合参加したいか

④-11 我孫子市がウォーターPPPを導入することに関して、懸念事項や不安な点などがありましたら、ご記入ください。

➤ 主な回答（順不同）

- ・ 長期契約において、物価上昇や人件費の高騰が発生した場合、契約内容の見直し・変更は対応してもらえるのか
- ・ 老朽化により予算範囲外での修繕、更新が必要となった場合の費用面の対応方法について不安がある
- ・ ウォーターPPP導入により業務の効率化は図れると思うが、コストダウンには懸念事項が多いと考えられる
- ・ 災害や緊急時の対応について、想定していない規模や頻度になった場合での対応や予算等の変更が難しいこと
- ・ 契約期間が長いため継続可能か不安である。調査、計画設計、改築、維持等、地元業者では無理があると思われる。

(7) アンケート結果の分析

①我孫子市からの業務受注割合

我孫子市からの業務受注割合について「0～20%」と回答した事業者は全体の約95%、「21～40%」と回答した事業者は残りの5%であった。このことから、市事業への依存度は低いと考えられ、ウォーターPPPの導入は特定企業の事業活動に過度な影響を及ぼす懸念は小さいと考えられる。

②我孫子市からの業務受注実績

同様の業務を複数回実施したことがある事業者もあり、特に下水道課の改築（更新）工事（管渠等）業務に関しては1社で13件、下水道管布設業務に関しては1社で7件の受注実績がある事業者が存在した。

③我孫子市におけるウォーターPPPの方向性の周知

ウォーターPPPの認知度や理解度が高い事業者が多数を占め、関心の高さがうかがえる一方、我孫子市がどのような方向性でウォーターPPPを進めようとしているのかわからないという意見も多数挙げられた。制度の詳細や導入による影響、懸念点について丁寧かつ分かりやすい説明を行うことはもとより、我孫子市ウォーターPPPの方向性について積極的な情報共有を進めていくことが重要である。